

ごちそう ふくしま絆づくり運動について

平成22年11月12日

福島県農林水産部

1 「ごちそう ふくしま絆づくり運動」の概要

(1) 趣 旨

本県農林水産業の持続的な発展を図るためには、農林水産業や農山漁村に対する県民の理解を促進することが重要であることから、消費者と農林漁業者、商工業者等の幅広い参画を得て、農林水産業と食、緑、環境、暮らしをつなぎ、みんなで支え合う「ごちそう ふくしま絆づくり運動(以下「絆づくり運動」という。)」を全県的に展開する。(「P.3」参照。)

(2) 運動の内容

ア みんなで支え合う「ふるさと」の絆づくり

- 農林漁業者と消費者等との交流促進
 - ・ 直売所、森林づくり、農林水産業の体験等による交流
 - ・ 全県的シンボルイベント及び地方別イベントによる交流
- 地産地消、食育の推進
- 「ごちそう ふくしま絆づくり宣言」の募集と制定
- 「ごちそう ふくしま絆づくり大賞(仮称)」の創設 など

イ 農林水産業に関する情報発信

- 地方別意見交換会等の開催
- PRパンフレット等の作成・配布
- 教科書副読本の作成・配布
- 「うつくしま農林水産ファンクラブ通信」、メールマガジンの発行
- ホームページによる情報発信 など

ウ 県(地方)推進本部会議の開催

- 「絆づくり運動」の一体的な展開に向けた意見交換
- 推進本部構成団体間の情報共有、緊密な連携 など

(3) 運動の主体

「絆づくり運動」の推進組織として、農林水産業関係団体、商工関係団体、食・流通・暮らし関係団体等の幅広い参画を得て、「絆づくり運動」県推進本部及び地方推進本部を以下のとおり設置した。(県推進本部の構成機関・団体は、「P.4」のとおり。)

	設 置 年 月 日
県推進本部	平成22年7月13日
県北地方推進本部	平成22年8月 9日
県中地方推進本部	平成22年8月26日
県南地方推進本部	平成22年8月20日
会津地方推進本部	平成22年7月23日
南会津地方推進本部	平成22年7月21日
相双地方推進本部	平成22年8月20日
いわき地方推進本部	平成22年8月 5日

関係機関・団体は、「絆づくり運動」の全県的な展開を図る観点から運動の趣旨を踏まえた主体的な取組みを積極的に推進することとした。

(4) 運動の名称

いきいき ふくしま農林水産業振興プラン(以下、「振興プラン」いう。)の趣旨を踏まえながら、県民の皆様に親しみ易く、農林水産業と、食、緑、環境、暮らしをつなぎ、県民全体の運動としてふさわしい名称として、「ごちそう ふくしま絆づくり運動」とした。

(5) 運動のスローガン

「振興プラン」において、県民みんなが力を合わせていけるよう設定した「みんなが主役。「絆」がつくる“ごちそう ふくしま”」とした。

(6) 運動のロゴマーク

ロゴマークについては、「ふくしま食と農の絆づくり運動」のシンボルとして平成19年度から活用し、定着してきたことから、スローガンを上記にある振興プランのスローガンに変更し、右記のロゴマークを活用していただくこととした。

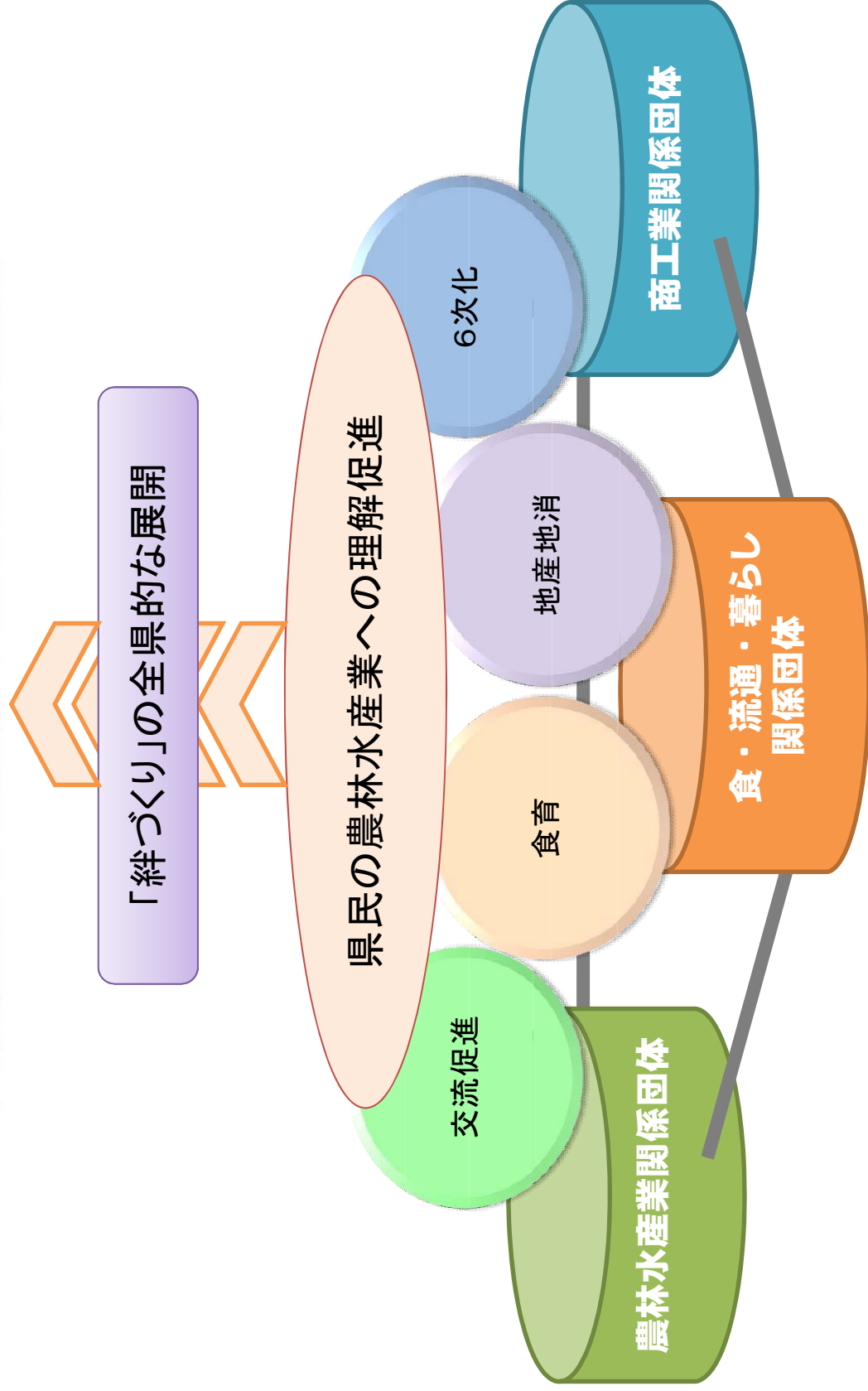


(7) 運動期間

平成22年度～平成26年度までの5年間とした。

「ごちそう ふくしま絆づくり運動」の展開イメージ

本県農林水産業の持続的な発展



「ごちそう ふくしま絆づくり運動」県推進本部

「ごちそう ふくしま絆づくり運動」県推進本部構成機関・団体

機 関 ・ 団 体 名
福島県
福島県市長会
福島県町村会
福島県農業会議
福島県農業協同組合中央会
全国農業協同組合連合会福島県本部
福島県農業共済組合連合会
社団法人福島県畜産振興協会
福島県酪農業協同組合
福島県土地改良事業団体連合会
福島県農業青年クラブ連絡協議会
福島県森林組合連合会
社団法人福島県緑化推進委員会
福島県木材協同組合連合会
財団法人ふくしまフォレスト・エコ・ライフ財団
財団法人福島県きのこ振興センター
福島県漁業協同組合連合会
福島県内水面漁業協同組合連合会
福島県商工会議所連合会
福島県商工会連合会
福島県中小企業団体中央会
福島県食品産業協議会
財団法人福島県観光物産交流協会
福島県生活協同組合連合会
福島県青果市場連合会
財団法人福島県学校給食会
社団法人福島県栄養士会
社団法人福島県食品衛生協会
社団法人福島県調理師会
福島県消費者団体連絡協議会
福島県食生活改善推進連絡協議会

2 今年度の絆づくり運動の展開について

(1) スタートアップ「絆づくり運動」イベントの開催

ア 「ごちそう ふくしま満喫フェア2010」における絆づくり運動のPR

平成22年10月10日(日)・11日(月)に、本県の「食」、「農林漁業」、「観光」等の魅力を広く発信する「ごちそう ふくしま満喫フェア2010」がビッグパレットふくしまで開催され2日間で51,300人が来場した。

県推進本部では、「ごちそう ふくしま絆づくり宣言」を発表するとともに、ブースを確保し県民の農林水産業への理解を促進する絶好の機会と捉え、「絆づくりクイズ」やチラシを配布することにより、県民の「食育」や「地産地消」などへの理解を深めた。

イ 「絆づくり運動」地方イベントの開催

	日 時	内 容
県北	平成22年8月28日	県北の森林(もり)の恵みと川俣シャモまつり満喫ツアー 【イベント参加者数】 13組 33名
県中	平成22年10月15日 ～10月24日	食の絆を広める県中地方イベントキャラバン 郡山(15～17)、石川(17)、田村(23, 24)、須賀川(23, 24)
県南	平成22年10月27日	“源流の里” しらかわのトマトがつなぐ地産地消体感ツアー 【イベント参加者数】 21名
会津	平成22年10月16日	「親子で参加！」会津の森と大地の恵み探検隊 【イベント参加者数】 12組 40名
南会津	平成22年11月7日	森と大地の恵み体験ツアー南会津2010 【イベント参加者数】 19名
相双	平成22年9月25日	大地の恵み感謝祭in南相馬(来場者数：約1,000名) 【親子料理教室参加者数】 7組 17名
	平成22年10月26日	相双の農林水産業☆触れあいバスツアー 【イベント参加者数】 20名
いわき	平成22年10月23日	「森林(もり)・大地・海」の恵み探検いわき地方農林水産業体験ツアー 【イベント参加者数】 17組 39名

※ 地方イベントに協力いただいた農林漁業者に対する応援・感謝のメッセージ(ありがとうカード)を記入してもらい、農林漁業者へ贈呈することで、農林水産業を支える気運の醸成を図った。

(2) 各種イベント情報の発信

月2回メールマガジン「ごちそう ふくしま通信」を発行し、県内農林水産業に関する様々な旬な話題を届けている。(平成22年11月4日現在登録者数：896名)

県内各地の多くの方々に、農林漁業者の皆さんとの出会いや体験などを通じ、福島県の森林から海までの自然が織りなす県内農林水産業の新たな魅力を発見してもらうとともに、農林漁業者の皆さんとの交流を深めてもらうため、「交流イベントカレンダー」を県ホームページに作成・掲載し、県内における農林水産業に関する各種イベント情報を紹介している。



(3) 「ごちそう ふくしま絆づくり宣言」の制定

「絆づくり運動」の趣旨をわかりやすく具現化し、広く取り組んでももらうため、県民の方々から、現在取り組んでいることや、これから取り組んでいきたいことを募集し、それらの取組みを整理して、県民が具体的な活動を実践できる「ごちそう ふくしま絆づくり宣言」としてまとめ、10月10日に開催した「ごちそう ふくしま満喫フェア2010」で発表・制定した。(詳しくは「P.7」のとおり)

(4) 「ごちそう ふくしま絆づくり大賞」の創設

「体験交流」、「食育」、「地産地消」などの観点から、「絆づくり」に顕著な成果を上げている団体等を「ごちそう ふくしま絆づくり大賞」として表彰する。

ごちそう ふくしま絆づくり宣言

わたしたちの^{いのち}生命を育み豊かな恵みを与えてくれる「ふるさと」をいきいきと輝かせ、次の世代にしっかりと引き継いでいくためには、農林水産業と食、緑、環境、暮らしをつなぎ、みんなで支え合う「ごちそう ふくしま絆づくり運動」に多くの方々が参加し、農林水産業や農山漁村に対する理解を深めていくことが大切です。

ふくしまの農林水産業が将来にわたって発展していくことを目指し、わたしたち一人ひとりが主役となってこの取組みを進めることを、ここに宣言します。

わたしたちは、

- 農林水産業や農山漁村の大切さを学びます。
- 「ふるさとの恵み」に感謝し、ふくしまの農林水産物をいただきます。
- 安全・安心で顔の見える農林水産物の生産・加工・販売に取り組みます。
- 様々な交流を通して、お互いの理解を深めます。
- 一人ひとりの活動を通して、いきいきとしたふくしまを創り、次の世代にしっかりと引き継いでいきます。